

## 平成27年度市町村がん検診受診率(速報値)について

がん検診は、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針(平成20年3月健康局長通知)」に基づき実施されている。

健康増進法に基づくがん検診の対象年齢は、上限の年齢制限を設けず、ある一定年齢以上の者としているが、受診率の算定にあたっては、「がん対策推進基本計画」(平成24年6月8日閣議決定)に基づき、40～69歳(子宮頸がんは20～69歳)を対象として算出している。

それに合わせ、県でも平成26年度から40(20)歳以上、40(20)～69歳、70歳以上の受診率を算出した。

### ●市町村におけるがん検診対象者数について

(国立がん研究センターが算出する推計対象数)

本受診率は、「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について 報告書」(平成20年3月 がん検診事業の評価に関する委員会)の提案を踏まえ、市区町村がん検診の実施状況を比較・評価するために算出したものである。

### 市町村事業におけるがん検診対象者数＝①－②＋③

[男女別 5 歳刻みの各年齢群での対象者数の合計人数]

- ① 40歳以上の市町村人口 (総務省統計局「国勢調査報告」) (\*国勢調査は5年毎)
- ② 40歳以上の就業者数 (総務省統計局「国勢調査報告」(5歳刻み)5年毎更新)
- ③ 農林水産業従事者 (総務省統計局「国勢調査報告」(5歳刻み)5年毎更新)

## 平成27年度の速報値

○県の平均は、5がんとも受診率は上がっている。

○コールリコール事業実施の桜井市(胃がん・肺がん)、天理市(大腸がん)王寺町(肺がん)、広陵町(肺がん)、下市町(肺がん)受診率が大きく上がっている。

○橿原市は高い受診率を維持している。

○奈良市、天理市、五條市、御所市、葛城市、斑鳩町、田原本町、明日香村、上牧町、大淀町、下市町で5がん検診全ての受診率が昨年度より上昇。

○胃がんは、60代の受診率が高い。

○肺がんは、60代の受診率が高い。

○乳がんは、40代の受診率が高い。

○子宮頸がん検診は、30代の受診率が高い。

○40(20)～69歳の受診率が、70歳以上よりも高い傾向が見られた。

ただし、次の市町村で70歳以上の方が40(20)～69歳より受診率が高かった。

奈良市(大腸がん)、橿原市(胃がん・肺がん・大腸がん)、生駒市(胃がん・大腸がん)、平群町(胃がん・肺がん・大腸がん)、三宅町(肺がん)、上牧町(肺がん)、野迫川村(肺がん)